

山本教授(東大大学院)に記念賞

高柳賞、中区で贈呈式



熊川理事長から表彰状を受ける山本教授
(右)＝浜松市中区

浜松市出身で「テレビの父」と称される故高柳健次郎氏の功績をたたえ、電子科学分野の優れた研究者を表彰する高柳賞の「第30回

贈呈式」(浜松電子工学奨励会主催)が11日、同市中区のホテルで開かれた。東京大大学院新領域創成科学研究科の山本博資教授が高柳記念賞に選ばれ、賞金200万円を受けた。

山本教授は「通信システムにおける符号化技術の基礎理論」を研究している。同奨励会の熊川征司理事長から表彰状を受け取ると、「困難にくじけることなく、未来を見詰めた研究を続けていきたい」とあいさつした。若手研究者に贈る高柳研究奨励賞の受賞者は次の通り。

小野篤史(静岡大学 術院工学領域准教授)、

徐珉雄(静岡大電子工学研究所特任准教授)、
中島正博(名古屋大大学院工学研究科マイク
ロ・ナノメカトロニク
ス研究センター助教)、
本井幸介(静岡理工科
大理工学部電気電子工
学科講師)